



PTA会報

まっばら

令和7年(2025)2月27日発行

発行 岩手県立高田高等学校
編集 広報委員会(2学年 PTA)〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町字長砂78-12
電話 0192-55-3153
FAX 0192-55-6758

可能性を秘めた宝物を支えるために

PTA会長 中野 貴徳



寒さが続く中にも、少しずつ春の訪れを感じられる季節となりました。皆様には平素より PTA 活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和6年を振り返りますと、国内外で多くの変化が見られた一年でした。気候変動やエネルギー問題への対応が求められる中、陸前高田市は「脱炭素先行地域」に選定され、再生可能エネルギーの活用や持続可能な社会づくりに向けた取り組みを進めています。この未来志向のまちづくりは、子どもたちの成長を支える保護者や学校にとって大きな希望となるでしょう。

本校の教育活動においても、保護者の皆様や教職員の方々の支えの中で、生徒たちは学びを深め、それぞれの可能性を育んでいます。私たちの子どもたちは、まさに「可能性を秘めた宝物」です。その成長を温かく見守り、支え続けてくださる保護者の皆様、そして日々生徒に寄り添い指導されている

教職員の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

令和7年を迎え、新たな年度を前にした今、PTAの活動が子どもたちにとってさらに安心して学び、未来に向けた力を養う支えとなるよう、引き続き皆様とともに取り組んでまいりたいと考えています。これからも学校、保護者、地域が一丸となり、より良い教育環境を築き上げていけることを願っております。

最後に、私事ではございますが、3月をもってPTA会長を退任いたします。この数年間、PTA活動を通じて保護者の皆様や教職員の皆様から多大なご協力と温かいお支えをいただきましたことに、心より感謝申し上げます。皆様とともに活動できたことは、私にとってかけがえのない経験であり、大きな誇りです。「宝物」が大きく光り輝けるためにも、改めて、人と人が支え合い、共に歩むことの大切さを強く感じています。これからもPTA活動が学校や地域を支える力となることを信じ、併せてPTA会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、会長挨拶とさせていただきます。

ウェルビーイングの実現に向けて

校長 菅野 幸貴



前回のPTA会報では「エージェンシー」について触れましたが、最近「ウェルビーイング」という言葉もよく耳にするようになりました。「ウェルビーイング」とは「well(よい)」+「being(状態)」つまり、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること」をいい、生きがいや人生の意義などの将来にわた

る持続的な幸福をも含む概念です。また、個人だけではなく、個人を取り巻く地域や社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含みます。この言葉が目目されるようになったのは、経済的な豊かさだけではなく、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える考え方が重視されるようになってきたからです。

教育現場でもウェルビーイングが重視されてきており、OECD(経済協力開発機構)は、「教育の目的は、個人のウェルビーイングと社会のウェルビーイングの2つを実現することである」と提示しています。教育に関連するウェルビーイングの要素として、「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「幸福感」「協働性」「社会的貢献意識」「学校や地域でのつながり」「安全安心な環境」「多様性への理解」「利他性」「サポートを受けられる環境」が挙げられて

います。

ここ数年、全国の高校生対象に高校魅力化アンケートが実施されています。その中で「主体性・協働性・探究性・社会性に関わるウェルビーイング」の結果を見ることができます。昨年度の本校と全国平均を比較すると、「主体性」と「協働性」は全国平均よりも若干高め、「探究性」「社会性」は全国平均よりも約10%高くなっています。中でも「将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある」が82.5%(全国平均66.4%)、「住んでいる地域の文化や暮らしの価値ある部分を、自らの手で未来に伝えていきたい」が72.2%(全国平均55.9%)と、「社会性に関わるウェルビーイング」の項目の数値が全国平均と比べて格段に高くなっています。これは、上記の要素の「学校や地域とのつながり」「社会的貢献意識」が、本校生徒には特に強いということが現れているのではないかと思います。

生徒たちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要です。もちろんそのためには、家庭や地域との連携・協力も欠かすことはできません。これからも、様々な教育活動を通して、生徒たちのウェルビーイングの向上を目指して尽力していきますので、保護者の皆様におかれましては、引き続き本校へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

《活動報告》 東北高P連山形大会に参加して

PTA副会長 及 川 由里子

第73回東北地区高等学校PTA連合会山形大会が7月4日～5日にやまぎん県民ホールを主会場として開催され、参加してまいりました。

今大会のテーマ「見つめよう、HOME～世界へはばたく子どもたちへ」。グローバル化の波は一層加速し、生成AIなどの新たなテクノロジーが登場し、私たちの生活や世界のあり方が急速に変化しています。少子化を伴う人口減少が進む中で、未来を生きる子どもたちは、世界と関わり新たなテクノロジーを活用しながら持続可能な社会の創り手としての資質や能力が求められています。その基盤となるのがHOME（家庭・郷土）での教育であり、魅力あふれる東北で豊かな心（Heart）を育み、自らの原点（Origin）を見つめ直し、世界に向けて行動（Movement）することが出来る。そういう人の育てる教育（Education）の在り方について、この東北から発信しようという趣旨での開催でした。

「未来を生きる子どもたちを育むための家庭・地域・学校の連携の在り方」として研究協議も開催され、東北6県の発表校からそれぞれの取り組みが発表されました。

講演では、株式会社next is east代表クリエイティブ・ディレクターの

マンジョット・ベティ氏から、自身のブランドディレクションしたトヨタ自動車のレクサスや伊勢神宮の式年遷宮の事例をもとに、クリエイティブ視点での子どもとの関わり方をお話されました。講演を拝聴しながら、TEDでも有名なサイモン・シネック氏の「WHYから始めよ」を思い出しました。WHYから始めることで、自らの原点（Origin）を見つけ、それが源泉（Empowerment）となり、行動（Movement）することが出来る。原点である郷土や家庭、そして自分自身を見つめなおすことの大切さを再確認することが出来た講演でした。

最後に、開催地の関係各位には多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。今回の大会を通じて得られた貴重な学びや気づきを、今後の活動に活かしていきたいと存じます。



《活動報告》 全国高P連茨城大会に参加して

PTA会長 中 野 貴 徳

第73回全国高等学校PTA連合会大会2024茨城大会が8月22日～23日にアダストリアみとアリーナ（茨城県水戸市）を主会場として開催され、参加してまいりました。

今大会は「歴史の町で変革を!! ～新たな時代が目に入らぬか～」をテーマとして掲げ、幕末の動乱期、新たな時代明治維新に大きな影響を与えた水戸学。その水戸の地で、PTAの新たな取り組みの大会となりました。

少子高齢化やグローバル化、AIの進化による急激な社会の変化に伴い、子どもの規範意識の低下、ネット犯罪や貧困問題、ヤングケアラーなどを背景として、問題が多様かつ複雑になり、学校や家庭だけでは対応できない課題が増え、併せて、目と目を見て話すという人間本来のコミュニケーションや、それによって生じる絆を断ち切ってしまった「コロナ禍」。切れた絆を再構築すべく、ウィズコロナ、アフターコロナの新たな時代に向け、すべての子どもたちが、自らの居場所を得て、自己有用感を高め、持てる力を十分発揮できるよう、関係機関・団体との連携を一層密にしたPTA活動の取り組みについて考える機会となりました。

初日は五つの分科会にわかれ、テーマ別に専門家の講演やフリートーク、グループワーク等を行いました。



翌23日は講師に二所ノ関寛氏（第72代横綱 稀勢の里）を招き、「人材育成の不易流行」と題し、これまで歩んできた経験を元に新たな取り組みを行っている「二所ノ関部屋」の様子を伺いました。

日本の国技である「相撲」。歴史を重ね、多くの名立たる力士を輩出し続けた「相撲部屋」の常識を、あらゆる

角度から見つめ直し、新しい時代の「相撲」に取り組む二所ノ関親方の講演は、内容も然る事ながら、聴講者を引き込むテンポと表現で会場をわかし、とても充実した記念講演となりました。

それぞれの分科会に先立ち、「花いけバトル」「ジャズバンド」「ガマの油売り口上」「為櫻應援團（いおうおうえんだん）」「書道パフォーマンス」が披露され、全大会では「マーチングバンド」が登場しました。

マーチングバンドを披露してくれた茨城県立大洗高等学校は、昨年度創立50周年を迎えた全校生徒160名の小規模高校。現在、3学年合計83名が音楽コースで、その全員がマーチングバンド部員として活動し、県外・県内遠隔地からの生徒（58名）は学生寮で生活しながら、『地域に愛されるマーチングバンド』を目標に、国内外に於いて年間90回前後の演奏活動、様々な大会等で受賞し続けている「特色ある学校」でありました。

この大会に参加したことで、講演やアトラクション、開催地での経済効果をはじめとする様々な影響を、足りないながらも考察したとき、新しい時代の流れをしっかりと見極め、その流れに流されるのではなく、自ら進む先を見据えることの大切さを再認識いたしました。

この機会を与えて頂いた会員各位に感謝申し上げ、ご報告と致します。



協力に感謝

1学年PTA委員長 金 野 正 一

今年度1学年委員長を務めさせていただきました金野です。

いたらない点やご迷惑をおかけしてしまったところも多々あったと思いますが、先生方や地域の皆様にご指導いただきながら何とか1年間活動することができたと思います。

振り返るとあっという間の1年でした。

また、取り組もうと思っていたことが十分に出来なかったり、ああすれば良かったと後悔するような事もたくさんありました。そのような状況でしたが、先生方や保護者の方々のご協力のおかげで生徒たちの成長をより一層感じられた事が親としてありがたい事でした。

また、地域の皆様のご理解と厚いご支援に支えられていることを改めて実感することができ、生徒達が置かれている環境に感謝を深めることが出来ました。

私たちの共通の目標は、生徒達が安心して学び、成長できる環境を整える事です。

この目標を達成できるように、一致団結してこれからも取り組んで参りましょう。

今後もPTA活動へのご理解とご協力をお願い致します。

最後に、インフルエンザ、新型コロナ、まだまだ終わりが見えません。感染等の予防にも気を付けていただきたいと思います。

ふてほど

3学年PTA委員長 長谷川 順 一

子から「親」という称号をもらい18年、互いに伴走しながら苦楽を共にしながら歩んできた。

今年度PTAとは関係無いが哲学対話なる会に参加する機会を得た。年齢幅が広いその会是我が子以上に離れた方も多く参加していた。いくつかあるルールの中で特に興味深かったのは「よく聞く」「自分の言葉で話す」という2点だった。その哲学対話なる会での内容は別として、真剣に聞いて、自分の言葉で話している最中に「ふと」妻や家族に対して、職場に対してはどうなのか？と、自分に矢印が向かってきた。しっかり話を聞いているのか？自分の言葉で対話出来ているのか？

底知れぬ反省とも後悔とも言えぬ様な不思議な感覚である。いくつになっても学びは大切である。学校に卒業や中退があっても、学びに卒業や中退は無い。

改めて3年間お疲れ様でした。さあこれから高校生活よりもレベルな理不尽な現実世界が待っていますよ。進学、就職問わずここからは、安全な内湾から徐々に外洋に出ていく事になる訳で、そしてその出ると言う事は自由と同時に責任を追う事になる。ただ、悲観的にならないでもらいたい。あなたには必ず味方がいる。それは親なのか？友人なのか？それ以外の存在なのか？

は、分からないが必ずいる筈である。

転んでも這い上がれ！Good luck

海洋システム科



実習風景



高田高校noteについて

「note」とは岩手県教育委員会が進めている高校魅力化の取組みを発信するメディアです。本校でも学校の様子を「note」で発信しています。是非ご覧ください。



本校noteQRコード

高高祭

2024.9.27~9.28



修学旅行

2024.11.28~12.2

1日目

学校～京都（金閣寺）



2学年は11月28日(木)～12月2日(月)まで関西方面(京都・奈良・大阪)へ修学旅行に行きました。写真で修学旅行の様子をご紹介します。

2日目

京都～奈良

(東大寺・春日大社・奈良国立博物館・薬師寺)



3日目

京都（班別自主研修）



4日目

京都～大阪（清水寺・USJ）



5日目

大阪（道頓堀散策）～学校



令和6年度 高田高校 部活動戦績

(7月～1月)

【硬式野球部】

■第106回全国高等学校野球選手権岩手大会 (7/10～7/25)

2回戦 高田 2 - 3 関一

■第77回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会沿岸地区予選 (8/24～9/1)

1回戦 高田 1 - 4 釜石

敗者復活 1回戦 高田 2 - 3 大船渡

【バレーボール部】

■令和6年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会岩手県予選会 (7/20～21)

▽女子 2回戦 高田 2 - 0 関修紅

準決勝 高田 2 - 0 SUNS

決勝 高田 2 - 0 OGAL (東北大会出場)

■令和6年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会東北ブロックラウンド (9/14)

▽女子 1回戦 高田 2 - 0 聖和学園短期大学

2回戦 高田 0 - 2 古川学園

■第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会釜石気仙支部予選会 (9/28)

▽男子 高田 0 - 2 釜石

高田 0 - 2 大船渡東 (支部予選敗退)

■第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会 (11/1～2)

▽女子 1回戦 高田 2 - 0 盛岡第四

2回戦 高田 2 - 0 久慈

準々決勝 高田 2 - 0 花巻東

準決勝 高田 1 - 2 盛岡誠桜 (第3位)

■第72回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技釜石気仙支部予選会 (12/21)

▽男子 高田 2 - 0 釜石

高田 1 - 2 大船渡東 (県大会出場)

▽女子 準決勝 高田 2 - 0 大槌

決勝 高田 2 - 0 大船渡・大船渡東 (県大会出場)

■第72回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技 (1/24～26)

▽男子 2回戦 高田 0 - 2 花巻北

▽女子 1回戦 高田 2 - 0 岩手女子

2回戦 高田 2 - 0 大船渡・大船渡東

準々決勝 高田 2 - 0 盛岡第三

4強リーグ① 高田 0 - 2 盛岡誠桜

4強リーグ② 高田 2 - 0 関修紅

4強リーグ③ 高田 1 - 2 花巻南 (第3位)

【バスケットボール部】

■令和6年度第70回岩手県高等学校新人バスケットボール大会 (1/18)

▽男子 2回戦 高田 53 - 85 大東

▽女子 2回戦 高田 21 - 95 水沢

【ソフトテニス部】

■令和6年度国民スポーツ大会代表選考会 (7/6)

▽女子ダブルス 第4位 林 萌生・野口美貴

■令和6年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会 (7/27)

▽女子ダブルス 1回戦 林 萌生・野口美貴

■第69回岩手県新人大会ソフトテニス競技 (10/4)

▽男子団体 1回戦 高田 3 - 0 関第一

2回戦 高田 0 - 2 久慈東

▽女子団体 2回戦 高田 3 - 0 遠野

3回戦 高田 2 - 0 関第一

準々決勝 高田 2 - 0 盛岡商

準決勝 高田 2 - 0 千厩

決勝 高田 0 - 2 関学院 (準優勝)

▽男子個人 1回戦敗退 熊谷優人・中田 涼

2回戦敗退 木下龍葵・吉田世成

2回戦敗退 佐藤 穂・佐々木翔天

2回戦敗退 千葉星輝・菅野悠翔

3回戦敗退 菅野聖那・村上叶悟

▽女子個人 ベスト16 金野陽由・千葉紗葵

ベスト16 吉田芽生・遠藤優依

第3位 林 萌生・吉田莉音

■第56回岩手県高等学校インドアソフトテニス大会 (12/20)

▽男子団体 1回戦 高田 1 - 2 黒沢尻工業

▽女子団体 1回戦 高田 3 - 0 盛岡市立

2回戦 高田 1 - 2 水沢

順位決定戦 高田 2 - 0 盛岡第三

高田 2 - 1 花巻南 (第5位)

▽男子個人 1回戦敗退 村上叶悟・菅野聖那

▽女子個人 ベスト8 金野陽由・千葉紗葵

ベスト8 吉田莉音・林 萌生

ベスト16 吉田芽生・遠藤優依

【卓球部】

■2024年岩手県ジュニア卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会ジュニアの部県2次予選 (9/22)

▽男子シングルス 2回戦進出 佐藤朝陽

2回戦進出 千田亜夢

3回戦進出 佐藤蒼依

▽女子シングルス 4回戦進出 千田一華

■令和6年度第70回岩手県高等学校新人大会 (10/18)

▽男子ダブルス 3回戦進出 佐藤蒼依・佐藤朝陽 (ベスト16)

▽男子学校対抗 2回戦 高田 3 - 0 水沢工業

3回戦 高田 3 - 0 宮古商工

4回戦 高田 0 - 3 専大北上 (ベスト8)

▽男子シングルス 2回戦進出 佐藤 煌 (ベスト64)

2回戦進出 千田亜夢 (ベスト64)

3回戦進出 佐藤蒼依 (ベスト32)

3回戦進出 佐藤朝陽 (ベスト32)

▽女子ダブルス 4回戦進出 熊谷彩夏・千田一華 (ベスト8)

▽女子シングルス 2回戦進出 熊谷彩夏 (ベスト64)

優勝 千田一華 (68年ぶり)

■第77回東京卓球選手権大会岩手県予選会 (ジュニア) (11/24)

▽男子シングルス 4回戦進出 佐藤蒼依 (ベスト32)

▽女子シングルス 3回戦進出 熊谷彩夏 (ベスト32)

5回戦進出 千田一華 (ベスト8)

■第52回全国高等学校選抜卓球大会(個人戦)岩手県予選会 (1/13)

▽男子シングルス 2回戦進出 千田亜夢

3回戦進出 佐藤蒼依 (ベスト64)

5回戦進出 佐藤朝陽 (ベスト8)

▽女子シングルス 3回戦進出 熊谷彩夏 (ベスト32)

準決勝 千田一華 3 - 0 千厩

決勝 千田一華 3 - 0 花巻南 (優勝)

(全国大会出場)

【ソフトボール部】

■第17回岩手県高校女子ソフトボール大会 (7/27)

1回戦 盛岡市立・久慈 0 - 7 宮古商工・宮古・高田・盛岡北

(5回コールド)

※雨天のため1回戦のみ開催 8校同時優勝

■第51回東北総合スポーツ大会 ソフトボール競技(少年女子) (8/24)

岩手県代表 鈴木千奈 出場

準決勝 岩手県 3 - 0 秋田県

決勝 岩手県 2 - 3 青森県 第2位

■第78回国民スポーツ大会SAGA2024 ソフトボール競技 (10/12)

▽少年女子 2回戦 岩手県 1 - 3 青森県 第5位

鈴木千奈 (岩手県選抜チーム)

■第71回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技 (10/19)

1回戦 高田 9 - 2 関第二

2回戦 高田 5 - 8 千厩・大東合同チーム (ベスト8)

【陸上競技部】

■2024 岩手県陸上競技選手権大会 (7/5)

▽2部女子 100m (14秒07) 村上莉乃愛

(14秒39) 小出結愛

	(14秒99)	菅野優愛
	(16秒05)	上野早穂
200m	(29秒90)	村上莉乃愛
	(30秒05)	小出結愛
	(33秒92)	上野早穂
400m	(1分27秒97)	吉田明日香
800m	(3分31秒13)	吉田明日香
▽2部男子	100m	(11秒99) 田村悠真
	200m	(25秒30) 田村悠真
		(27秒48) 佐々木大翔
	400m	(1分03秒36) 中川輝信
		(1分05秒30) 佐々木大翔
	やり投げ	(39m39) 中川輝信
		(42m24) 松田蒼空
	円盤投	(27m79) 松田蒼空
▽女子	やり投げ	(26m66) 中井真央
	円盤投	(20m35) 中井真央
■第75回岩手県高等学校新人陸上競技大会 (9/6)		
▽女子	100m	(14秒13) 村上莉乃愛
	400m	(1分23秒13) 吉田明日香
	800m	(3分12秒24) 吉田明日香
	やり投	(23m90) 上野早穂
		(28m72) 中井真央 (7位)
	円盤投	(13m46) 佐々木唯例葉
		(16m15) 上野早穂
		(21m85) 中井真央
▽男子	100m	(13秒27) 佐々木大翔
		(12秒18) 田村悠真
	200m	(25秒26) 田村悠真
		(27秒55) 佐々木大翔
	やり投	(38m62) 中川輝信
		(39m61) 松田蒼空
	円盤投	(28m28) 松田蒼空 (7位)

【柔道部】

■第69回岩手県高等学校新人柔道大会 (10/18)		
▽女子団体	1回戦敗退	鈴木美尋 (大船渡高校との合同チーム)
▽男子団体3人制	第3位	村上 惺 (宮古水産高校との合同チーム)
▽女子個人	第3位	鈴木美尋
▽男子個人無段の部	1回戦敗退	村上 惺
■第57回岩手県高等学校1・2年生体重別柔道選手権大会 (8/31)		
▽2年男子個人	1回戦敗退	村上 惺
▽女子個人	準々決勝敗退	鈴木美尋

【サッカー部】

■第59回 岩手県高等学校サッカー新人大会 (11/15)		
高 田 0 - 8 盛 岡 市 立		

【水泳部】

■第72回東北高等学校選手権水泳競技 (7/19~21)		
▽女子	200mバタフライ予選	32位 (3:35.66) 小野寺未来
		33位 (3:49.28) 崎山 稟
	100mバタフライ予選	46位 (1:34.48) 小野寺未来
■第62回岩手県高等学校新人大会 水泳競技 (9/20~21)		
▽女子	100mバタフライ タイム決勝	6位 (1:38.07) 崎山 稟
	100m自由形 タイム決勝	17位 (1:27.31) 藤井愛花
▽男子	100m自由形 タイム決勝	27位 (1:28.77) 臼井勇晴
▽女子	200mバタフライ タイム決勝	4位 (3:36.37) 崎山 稟
		(東北大会出場)
	50m自由形 タイム決勝	19位 (37.97) 藤井愛花
▽男子	50m自由形 タイム決勝	30位 (35.99) 臼井勇晴
	100m平泳ぎ タイム決勝	15位 (1:28.69) 渡邊温有
	200m平泳ぎ タイム決勝	11位 (3:21.30) 渡邊温有
■第32回東北高等学校新人水泳競技大会 (10/25)		
▽女子	200mバタフライ予選	18位 (3:41.24) 崎山 稟

【書道部】

■第47回岩手県高等学校総合文化祭書道部門 (10/8)		
▽1種「漢字・かな」部門	入 選	吉田優里
	入 選	荒木菜凜
▽1種「漢字かな交じり」部門	入 選	熊谷琉花
▽2種「漢字・かな」部門	秀作賞	中山倅々篠
	秀作賞	高橋 凜
■岩手県立学校共同実習船「りあす丸」船名揮毫 (10/16)		
▽船名揮毫	船名揮毫者	鈴木愛弓

【吹奏楽部】

■第62回岩手県吹奏楽コンクール沿岸地区大会 (7/6)		
金 賞		
■第62回岩手県吹奏楽コンクール岩手県大会 (8/2)		
銅 賞		
■第33回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会予選東北大会 (10/20)		
▽高校生部門	銅 賞	(臺 陽彩)
■令和6年度岩手県アンサンブルコンテスト釜石気仙支部大会 (12/21)		
▽金管五重奏	銅賞	(高橋友斗・熊谷楓花・臺 陽彩・上館心羽・佐藤梨夢)
▽木管四重奏	銀賞	(菅野結和・山根心愛・志田香奈・畠山蒔吏)

【美術部】

■第25回高校生国際美術展 (8/20)		
▽美術の部	奨励賞	千葉七奈
■第47回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展 (11/15)		
▽絵画部門	入 選	熊谷朱莉

【茶道部】

■第70回大船渡市民芸術祭茶会 (10/20) 参加		
----------------------------	--	--

【新聞委員会】

■第47回岩手県高等学校総合文化祭新聞コンクール (7/30)		
▽令和6年度新聞コンクール		
タブロイド版・その他部門	最優秀賞	高田高校新聞 193号
■第48回全国高等学校総合文化祭ぎふ総文2024		
▽新聞部門	参加	

【芸術科】

■第12回ミツバチの一枚画コンクール		
団体奨励賞	1年美術選択生	39名

【海洋システム科】

■令和6年度第63回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表会東北大会 (10/25)		
奨 励 賞	黄川田穂壬・吉田琉希	

【総合的探究2学年】

■第9回大船渡ビジネスプランコンテスト2024		
奨励賞	TAKATA SPORTS ACADEMY~多様なスポーツで地域をつなぐ~	
	及川侔彰・大和田蒼汰・村上叶悟・黄川田子龍・渡邊温有	



令和6年度卒業生の進路状況 (R7.1.20)

進路状況		進学									就職				その他	合計
		国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	国公立短期大学校等	医療系専門	各種専門	進学準備	小計	民間	公務員	縁故	小計		
普通科	文A	0	2	1	4	1	6	9	0	23	17	0	0	17	1	41
	文B	3	20	1	0	1	0	2	0	27	0	0	0	0	0	27
	理系	3	18	3	0	4	2	2	0	32	0	1	0	1	0	33
	計	6	40	5	4	6	8	13	0	82	17	1	0	18	1	101
海洋システム科		0	0	0	0	1	0	0	0	1	8	0	0	8	0	9
合計		6	40	5	4	7	8	13	0	83	25	1	0	26	1	110

進学状況	主な進学先
国公立大学	青森公立大学 弘前大学 岩手大学(2) 福島大学 都留文科大学
私立大学	岩手医科大学 盛岡大学 石巻専修大学 東北学院大学 東北福祉大学 宮城学院女子大学 東北工業大学 仙台青葉学院大学 立教大学 立命館大学 等
国公立短期大学	岩手県立大学盛岡短大部(4) 岩手県立大学宮古短大部
私立短期大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学 仙台青葉学院短期大学(2)
国公立短期大学校等	岩手県立産業技術短期大学校(2) 岩手県立農業大学校(3) 国立宮古海上技術短期大学校 東北職能開発大学校
医療系専門学校	岩手県立宮古高等看護学院 岩手看護専門学校 東北保健医療専門学校(3) 仙台医健・スポーツ専門学校(2) 気仙沼市立病院附属看護専門学校
各種専門学校	盛岡ヘアメイク専門学校 仙台総合ビジネス専門学校 気仙沼リアス調理製菓専門学校 仙台こども専門学校 仙台総合ビジネス専門学校 北上コンピュータアカデミー 等
就職状況	主な就職先
民間就職	アマタケ(2) サクラダ 佐賀組 三共化成 サンコー食品 さんりくの園 太平洋セメント(3) ゆわて吉田工業 龍振工業(2) サンユウ ジェーテック SUBARU 群馬製作所 日東インダ 日本郵便 ホテル瑞鳳 山崎製パン(2) 松田会 明電ファシリティーサービス 三国屋建設 ヴィ・ディー・エフ・サンロイヤル
公務員	宮城県警察

これからの時代を生きていく卒業生の皆さんへ

こんにちは、高田高校でスクールカウンセラーをしている千葉崇弘です。

僕と関わりのなかった人たちも多いと思うので、カウンセラーという仕事、カウンセリングというのは一言で言えば「お手伝い」です。違う意見のカウンセラーもいると思いますが、僕は完全にお手伝いというスタンスでこの仕事をしています。よくカウンセリングの仕事をする時に「人間は馬を水飲み場に連れていくことはできるが、水を飲ませることはできない」という言葉が使われます。飲もうとしてないのを無理やり飲ませたらひどいですよね。色んな理解の仕方が出来ますが、この文章に込められた意味は大きく2つです。一つは「人間は他人を思い通りにコントロールすることなどできない」という意味で、もう一つは、「最後に決めて動くのはその人本人なのだ」という意味です。なので、僕はカウンセリングの中で「提案」は結構しますが、「指示」みたいな言い方はあまりしないようにしています。そして、結構自分で考えてもらっています。「相談に来たのにめっちゃ自分で考えさせるやん!」「そっちが解決のための方法言ってくれるんじゃないの!」今まで一緒に相談してきた人の中にはもしかしたらそう思っていた人もいたかもしれません。

これからの時代、多様化が進み、「普通こうだよ」みたいな考え方はどんどんなくなっていくことが予想されます。一人ひとりマジでめちゃくちゃ違う考え方と感じ方を持った人々で作られる世の中になっていくと思います。人間は孤立することを恐れる生き物なので、違いは怖く感じてしまします。でも、違いを恐れるあまり自分の気持ちを殺して生きるのが苦しくなるということも起きています。言ってしまう必要はバランスなのですが、周りに流されて、翻弄されたとしても、最後には自分の思いや意見を大事にして人生を営んでいってほしいなと思います。

卒業生の保護者の皆様も、お子様方のご卒業おめでとうございます。18歳は成人の年ですね。まだまだ未熟に見えますと思いますが、18歳からは大人の仲間入りです。少しずつでいいので、これからは対等な大人としての親子関係を築いていってもらえたらと思います。コントロールはしないけど、人生の先輩として、選択肢や方向性は伝えていく、そんな立場から、社会に出ていく子供たちを支えてもらえたらと思います。ご卒業おめでとうございます。

編集後記

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、その歩みを支え続けてこられた保護者の皆さまにも、心からお祝い申し上げます。これまでの努力を糧に、それぞれの新しいステージで輝かしい未来を築かれることを心より願っています。

また、PTAとしても、学校行事や部活動など、保護者と学校が連携し、生徒の成長を後押しする活動に取り組んでまいりました。これらの活動は皆さまのご協力があってこそ成り立つものです。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

会報には、1年間の活動報告や学校生活の様子を伝える写真を掲載しました。会報が生徒たちの活躍を改めて感じるきっかけとなれば幸いです。

最後に、会報発行にご尽力いただいた皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

(2学年PTA委員長 及川由里子)